

## 11.28/2016 学修相談実施報告

来室学生

四回生 女子 一名

計一名

質問内容

1. (溶媒の)ドデカンと  $n$ -ドデカンが同じものか、違うものか。

回答内容

1. ドデカンには(構造)異性体がたくさんあるので、ドデカン類ではないか。直鎖上のもものは  $n$ -ドデカンと表記してあると思う。かってドデカン(屈折率の大きい)溶媒として使用したことがあるが、ドデカン類というのがあったように思う。手元にあった薬品カタログ(和光)を調べたが、 $n$ -ドデカンしかなかった。有機化学の本には  $n$ -ドデカンとして、融点、沸点、が記載されていた。試薬ビンのラベルには、純度、融点、沸点などが表記してあると思うので、純度が高く、融点、沸点が精度よく書かれていれば、それは  $n$ -ドデカン(単一物質)のことではないか。そうでなければドデカン類と判断してよいのではないかと回答。

(後で調べて分かったことだが、ドデカンは慣用名で通常  $n$ -ドデカンを指すらしい。ドデカン類という言葉は見当たらなかった。ただ Aldrich のカタログには純度の低いドデカンが記載されていたので、ドデカン類に相当するのかもしれない。また、ドデカンより低級炭化水素でも、ペンタン類、ブタン類という呼称が有機化学の専門書の一つにはあった。)

以上